

# ふくしま農業女子ネットワーク 農女ぴより



百笑一姫の  
Fukuがふる  
ネットワーク  
のロゴマーク



小松菜やフリルレタスなどを水耕栽培しているハウス

◆ふくしま農業女子ネットワーク(愛称:百笑一姫♡Fukuがある)農業女子同士の交流・連携を深め、技術の向上を図ろうと、県内の女性就農者や就農希望者65人で構成。福島民報社をはじめ、県内の30企業・団体が「応援団」として登録している。農産品を使

った加工品の共同開発や情報発信、経営力向上、販路拡大などに連携して取り組む。メンバー、応援団となる企業・団体を随時募集している。URLは<http://www.fuku-girl.jp/> 問い合わせは事務局 県農業担い手課 電話024(521)7340へ。



やなぎだ  
柳田 美華さん(郡山市)

## FGAP取得目指す

就農して間もなく丸3年になりまして。ハウスで小松菜やフリルレタス、小ネギなどを水耕栽培しています。

1年目は、いろいろと覚えるのに必死で、なかなか他のことに手が回りませんでした。2年目は大量生産と病気への対応が大変な時期でした。大量生産した野菜をどう販売すればいいか、栽培のやり方はこれで大丈夫か、生産する野菜の量を多くするか少なくするかなど、いろいろと考えさせられた2年間でした。今でもまだ悩まされている課題ですが、少しずつ改善しながら納得のいくやり方を見いだしていけるように頑張っています。

今年の夏は、またしても病気にやられてしまいました。今までで一番

ひどく、収穫も出荷もままならない状態でした。去年と同じ「軟腐病」を疑い、専用の農薬を定期的に2カ月ほど散布しても効果がみられず、以前使っていた農薬に切り替える

と、徐々に収まっていきました。農薬のほかにも掃除の仕方を変えたり、水の入れ替えを多くしたりと、県の指導員や水耕栽培の専門の人たちに聞きながら、なんとか乗り越えました。調べてみると「べと病」という病気だったことが分かり、安心しました。

現在は、ほぼ病気はなくなり安定に生産、出荷できるように回復しつつあります。まだまだ、安心できる状態ではないですが、野菜を安定的に提供できるようにしたいです。

来年は、トマト栽培と県独自の農産物安全認証制度「ふくしま県GAP(FGAP)」取得を目指しています。中玉とミニトマトを栽培予定

で、JA直売所やスーパーの産直販売を想定しています。そのほかは、イベントで販売するピザのソース用に加工を考えています。新たな挑戦を始める今、楽しみと不安でいっぱいです。

◆プロフィール◆ 郡山市蓬瀬町在住。市内大槻町で農業法人・有限会社「光」を設立。水耕栽培した小松菜や小ネギ、レタスをJA直売所やスーパーの産直売り場で販売。自家製野菜を使ったピザをイベントで販売している。ツイッター(光@Hikari\_notrear)で情報を更新中。